

ESA の交換後、SMA に集められた ESA レポートやトラッキング データはどうなりますか。

目次

[はじめに](#)

[ESA の交換後、SMA に集められた ESA レポートやトラッキング データはどうなりますか。](#)

[レポート作成](#)

[メッセージトラッキング](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) の発生するか何が後置換報告し、トラッキングのために中央 集中型 サービスを利用することに関連して Ciscoセキュリティ管理 アプライアンス (SMA) で収集されるデータを報告し、トラッキングすることを記述し。

ESA の交換後、SMA に集められた ESA レポートやトラッキング データはどうなりますか。

既存の ESA を取り替えなければならないことができるシナリオに動作することができます。これは RMA、ハードウェア アップグレード、または他の原因が原因である可能性があります。報告していれば中央 集中型 サービスか中央 集中型 サービスが ESA で設定されるメッセージトラッキングある場合それから SMA の適切なアプライアンス設定をアップデートする必要があります。

レポート作成

ESA SN YYY (host2) と ESA SN XXX (host1) を取り替えた後、'host1 のビュー データに選択する場合ホストに両方とも同一の構成があると仮定する、メール > モニタ > レポート グラフの概要ページのデータを見ません。'host1 と関連付けられるデータは 'host2 にマップされません。すべてのホストのビュー データに選択する場合、レポート グラフは 'host1 および 'host2 両方のデータを報告します。レポート データを表示した場合「すべてのメール アプライアンスを選択していること保証する必要があります。

Overview



Time Range: Year : View Data for: All Email Appliances : Printable (PDF)

基本的に、集約されたレポート データは保たれます。別の ESA と取り替えられる ESA に相当してレポート データを削除しません。

メッセージ トラッキング

メッセージ トラッキングに関して、'host2' によって受け取ったメッセージをトラッキングすればそれは 'host1' によって受け取ったメッセージを出力しません。ただし、「すべてのホストによって」受け取ったメッセージをトラッキングすれば 'host1' によって受け取られたメッセージを見つけられます。メッセージ トラッキングを行った場合高度ドロップダウン オプションから「すべてのホスト」を選択していること保証する必要があります。

Message ID Header:	<input type="text"/>
Cisco IronPort Host:	<input type="text"/>
Cisco IronPort Host:	All Hosts ▾
Query Settings: (?)	Query timeout: 1 minute ▾
	Max. results returned: 250 ▾

再度、メッセージ トラッキングは 'host1' から 'host2' にメッセージをマップしません; 集約されてデータをトラッキングすることがどんなに保たれても、'host1' および 'host2' 両方によって受け取ったすべてのメッセージを問い合わせることを許可します。

関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)